

団地再生事業

多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まいまちの実現をめざし、地方公共団体、民間事業者等とともに地域及び団地ごとの特性に応じた多様な活用を推進しています。



▶ 千里山団地 (大阪府吹田市)

2008年に着手した千里山団地724戸の建て替えを契機に、URの関連公共施設整備制度 (URが公共施設を地方公共団体に代わって整備する制度) を活用し、駅前広場、都市計画道路、公共下水道などの公共施設整備とUR賃貸住宅の建て替え事業を一体的に行い、阪急千里山駅周辺の課題であった交通混雑の解消や歩行者の安全確保等を実現し、地域に貢献しました。



整備後の阪急千里山駅周辺と建て替え後の「千里山団地」



建て替え後の「浜甲子園なぎさ街」(Photo Ai Hirano)

▶ 浜甲子園団地 (兵庫県西宮市)



2000年度から浜甲子園団地の建て替えを始めています。かつての愛された浜甲子園団地の穏やかな住宅地というイメージを継承し発展させるため、複数の建築家・地域住民・行政・URが参加するワークショップ等により議論を重ねて設計作業が進められました。環境共生、防災、地区計画の導入、「まちの再生運営協議会」の開催などさまざまなまちづくりの取り組みを実践し、多様な世代がつながるまちへと生まれ変わっています。



コミュニティスペース「HAMACO:LIVING」



整備後の阪急千里山駅 駅前広場